

授業科目名	教育相談		科目コード	204043	
開講クラス	こども未来科	コース	保育士・幼稚園教	学 年	2 年
担当教員	非常勤講師		実務経験教員 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)		
	実務経験内容 学校現場や医療機関に長年勤務し、学生や精神疾患をもつクライアントのカウンセリングに従事。 臨床現場での経験もふまえ、コミュニケーションスキルの習得が不可欠であることや、保護者や子どもたちだけではなく、対人援助者自身のメンタルヘルスの重要性を理解できるような講義を行う。				
開講時期	前期・ <input checked="" type="checkbox"/> 後期・通年・特別講義・その他		授業コマ数	30 時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 ・ 選 択 ・ 選択必須		単 位 数	2 単位	
使 用 テキスト 1	書 名	子育てカウンセリング ～幼稚園・保育所で行う保護者の心のサポート～			
	著 者	石川洋子編集			
	出版社	図書文化			
使 用 テキスト 2	書 名				
	著 者				
	出版社				
参考図書					
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ()				
<授業の目的・目標> ・ 保育現場における教育相談の重要性を認識し、具体的な教育相談の方法やその実践について理解する。 ・ 教育相談に活用できる基本的なカウンセリング理論や技法を習得し、保育現場において実際に活用できるようになる。					
<授業の概要・授業方針> ・ 虐待やいじめなど、保育を取り巻く厳しい状況の中で、子どもはもちろんのこと保護者とのよい関りを築くためには、基本的なカウンセリング理論や技法が不可欠であることを理解できるよう、臨床現場での事例も用いながら、具体的にイメージできる講義を行う。 ・ 対応が困難な子どもや保護者の特性を医学的な視点からも理解できるよう、医療現場の話や体験談も交えながら講義を進める。 ・ 対人援助で活用されている基礎的なコミュニケーションスキルやカウンセリング技法についても、実践の機会を取り入れながら現場で活用できる技術の習得を目指す。					
<成績基準・評価基準> ・ 成績基準 優：80 点以上、良：70 点以上、可：60 点以上、不可：59 点以下 ・ 評価基準 ①小テスト、授業態度、提出物：40% ②期末試験：80%					

<使用問題集・注意事項>

- ・講義時に提示する
- ・必要に応じて随時、資料を配布する

<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他>

- ・幼児の心理や教育心理学の知識を応用する場面も多いため、1年次で習得した内容を事前に復習したうえで講義に臨む。
- ・実践的なスキルを習得するために、実習やボランティアを活用し、支援を必要とする子どもたちや保護者を関わる機会を積極的にもつ。

授業科目名	教育相談	
回	授業内容	備考
1	教育相談 概要 オリエンテーション	
2	保育における教育相談～さまざまな心理療法について学習する(精神分析)	
3	保育における教育相談～さまざまな心理療法について学習する(行動療法)	
4	保育における教育相談～さまざまな心理療法について学習する (来談者中心療法)	
5	保育における教育相談～さまざまな心理療法について学習する(認知行動療法)	
6	カウンセリングスキルについて理解する「聞く力」	
7	カウンセリングスキルについて理解する「閉じられた質問」と「開かれた質問」	
8	相手を知るためには自分を知ることの大切さについて理解する① (自分の行動や気持ちのクセについて知る)	
9	相手を知るためには自分を知ることの大切さについて理解する②	
10	気になるこどもへのかかわり方を理解する(登園渋りのある子ども)①	
11	気になるこどもへのかかわり方を理解する(登園渋りのある子ども)②	
12	気になるこどもへのかかわり方を理解する(粗暴行為のある子ども)①	
13	気になるこどもへのかかわり方を理解する(粗暴行為のある子ども)②	
14	気になるこどもへのかかわり方を理解する(発達障害のある子ども)①	
15	気になるこどもへのかかわり方を理解する(発達障害のある子ども)②	
16	気になるこどもへのかかわり方を理解する(集団生活が苦手な子ども)	
17	子どもの様子を気にとめない保護者へのアプローチと支援	
18	叱ってばかりいる保護者へのアプローチと支援	
19	虐待の疑いのある保護者へのアプローチと支援①	
20	虐待の疑いのある保護者②	
21	一人で抱え込む保護者へのアプローチと支援	
22	精神疾患の疑いのある保護者①	

23	精神疾患の疑いのある保護者へのアプローチと支援②	
24	精神疾患の疑いのある保護者への支援①	
25	精神疾患の疑いのある保護者への支援②	
26	保護者との信頼関係の作るための心構えと支援のあり方	
27	障害の子どもを持つ保護者への支援のあり方	
28	医療・福祉・教育などの関連する機関との連携とつなぎ方	
29	保育者として自分と向き合う（保育者同士の関係・自己と向き合う）	
30	試験	